

平成 19 年度 学校経営計画

1 学校教育目標

(1) 教育目標

より高きを求めてやまない「尚美」の伝統に根ざし、平和で豊かな民主国家の建設をになう、自主自律の気風に富んだ剛健で実践的な工業人の育成を期する。

(2) 教育方針

ア．基礎学力の充実と技術の錬磨

エ．勤労意欲と責任感の涵養

イ．健康な心身と節度ある態度の育成

オ．個性の伸長と創造性の育成

ウ．公正な判断力と社会性の育成

2 学校の特徴

本校は、工業系 4 科、芸術系 2 科を持つ工業系専門高校として、110 余年の伝統を踏まえ、ものづくり・作品づくりを通して生徒の人格陶冶と自己実現を旨とする教育活動を実践している。その支柱となっているのが、伝統的な「尚美の精神」である。この精神のもとに、本校では、一人ひとりの生徒が、学習活動の中で普通教育と専門教育の調和と深化を図り、知性の錬磨と、さらに部活動をはじめとする特別活動を通しての人間性と精神力や体力の向上を目指し、人を思いやる心をもった健康な体と生きる力を養うよう指導し、支援している。また、中学生を対象とした「青井中学生美術展」や「ものづくり体験教室」の開催等を通して、工業・工芸・デザインに関する地域の拠点となるよう特色ある学校づくりをめざしている。

3 学校の現状と課題

人間力豊かなものづくりのスペシャリストである工業人の育成を目指す本校の教育活動は、学力向上のための学習活動、高校生として「けじめ」ある行動・態度がとれる生徒指導、望ましい職業観を身につける進路指導、生徒会活動や部活動等の特別活動指導がお互いに連動し合って相乗効果を発揮させたい。

[現状]

- ・各学科で 1 年次から学科の特性を生かして専門性の深化を図り、2 年次からのコース制や専門技術者等による授業等を積極的に実施し、魅力ある工業教育の展開を目指している。
- ・学校外における学修の成果の単位認定を行い、検定や資格取得の挑戦を通して学習意欲の向上を図る。
- ・「朝のあいさつ運動」等を通して、多くの生徒が積極的にあいさつを交わすようになってきている。
- ・約 8 割の生徒が部に所属しており、部の活躍や勢いが学校の活性化に大きく貢献している。また、学校行事に対しても多くの生徒が積極的に取り組んでいる。
- ・進路状況は、就職希望が約 51% で、希望者全員が就職をしている。また、進学者のうち約 4 割が四年制大学への進学であり、本校で学んだ専門の学習内容を更に追求し高めるため、推薦入学制度を活用して進学する生徒が多い。
- ・地域との連携を目指した学校づくりや、望ましい就労観や職業観を身につけるため、インターンシップの推進を図っている。

[課題]

- ・互見授業や生徒による授業評価の実施により授業の改善に努め、学習意欲を引き出す指導方法や評価、学力向上のための学習時間確保の対策等を検討する。
- ・地域産業界や大学、研究機関等との連携を深めた作品製作を通して、地域の伝統的な産業に関する学習活動を実践的に行う。また、将来のものづくりのスペシャリストを育成するため、自由な創作の場である尚美工房を発展させ、そこでの作品づくりを通して、実証的に研究を推進する。
- ・学校と家庭の情報の共有を図り、生徒としての節度ある行動・態度がとれる指導を通して、人格形成を目指した生徒指導を推進する。
- ・2 年生全員によるインターンシップを実施し、早期からの望ましい就労観・職業観を身につけるよう努めるとともに、生徒の多用な進路希望が実現できる進路指導を推進する。
- ・特別活動内容の一層の充実を図り、家庭の協力を得て、より満足度を高める指導を推進する。
- ・教育活動における内部の点検評価を生かすとともに学校評議員制度の活用や、「学校評価システム」を充実し、家庭や地域の方々に学校への理解を深めて頂くよう、開かれた学校づくりを目指す。

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動 重点1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上と専門知識の習得に励み、工業人としての基礎を確立すると共に、自ら学ぶ意欲の向上を目指す。 ・検定や資格取得の充実及び各種コンテスト・コンクール等への挑戦。 ・普通教科、(数学、国語)と各専門学科で、各学年における基本事項を確実に習得させる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上の互見授業や生徒による授業評価を各学期に1度実施し、生徒の学習意欲の向上と授業改善を図る。 ・本校独自の基礎計算力テストの結果を受けて、各科指定の教科での補完や補習、家庭学習等で補強を行い、学年末の確認テストで学力の向上を図る。 ・普通教科、特に数学、国語と各専門学科で最低限身につけなければならない内容を確実に習得させるために、より効果的な指導に努める。 ・基礎的な検定・資格の補習指導を徹底し資格取得を促進し、学習意欲の向上を図る。また、ジュニアマイスター取得を目指し、難易度の高い国家試験に挑戦することを理解させる。
(2)	学校生活 重点2 重点3	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ運動、日常の生活指導を通して「けじめ」ある行動・態度と清潔で高校生らしい服装やマナーを身に付ける。 ・基本的な生活習慣を身につけ、生活の乱れによる遅刻・欠席・早退をしない規則正しい生活ができる。 ・「保健便り」の年2回以上の発行により、健康に関する意識の向上を図る。 ・臨床心理士による職員の校内研修を実施し、学校不適応生徒へのメンタルヘルスケアの充実を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や学科、部顧問との連携を密にした面接指導を充実し、遅刻者の減少を図る。 ・全教員による朝のあいさつ運動や各種の保健活動の実施により、健康に関する意識の向上を図り、朝寝坊や怠惰等、生活の乱れによる遅刻を減少させる。 ・生活の基本である服装の違反をなくすため、月1回の全校一斉の服装指導をする。 ・各種の定期健康診断等の結果や生徒保健委員会の活動を通して、健康に関する情報を発信し、健康保持のための自己管理を促す。
(3)	進路支援 重点4	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な進路選択ができる能力を向上させる。 ・進路目標を早く見つけ、目標実現に向けての実力の養成を図る。 ・インターンシップ制度の推進による職業観の育成を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩の講話」「保護者による進路講話」「外部講師による講話」等を実施する。 ・工学系進学者を対象とした「基礎学力講座」などの特別指導を実施する。また、芸術系進学者の学力補充に対しては「絵画実技講座」などと併行した学習指導を早期から実施できるシステムを構築する。 ・2年生全員によるインターンシップを実施し、早期からの、望ましい就労観や職業観を身に付けさせる。

(4)	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率80%以上を堅持し、学習との両立を図る。 ・部活動参加者の充実感を調査し、満足度80%以上を目指す。 ・各学校行事終了後、評価の調査を行い、満足度80%以上を目指す。 ・図書館利用や読書を推奨する活動を充実させ、生徒に利用のマナーを培うと共に、読書への関心・意欲を高め、主体的な読書習慣の定着を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事終了後のアンケートや年度末での部活動アンケートを実施し、満足度や充実感を調査する。 ・定期的に各部長を集め、活動内容の把握や安全確認、活動の激励助言に努める。 ・部活動と家庭との連携が強くなるように、支援や協力をする。 ・生徒会だよりに大会日程やその成果を掲揚し、学校全体の雰囲気や生徒の気力を高める。 ・生徒会を中心として事前アンケートを実施して、生徒の意見の把握に努める。 ・各部署や部活動との教職員協力体制を見直し、連携を強化して行事内容や実施の充実化に努める。 ・読書に対する広報活動を拡充し、図書館利用者の増加と、一人あたりの図書貸し出し数を3冊以上にする。 ・全校一斉の定期的な読書週間(年2回)を企画し、全生徒が本に親しむ機会を設定する。 ・読書に関心を持たせる機会として読書会、輪読会(年2回)を実施し、その参加者を増やすと共に、図書館利用に対する意識を高める。 ・課題学習等における資料収集や、読書のための図書選定に対して、関連図書の見つけ方を指導する。 ・図書館便り(年9回)書泉(年1回)を発行しその内容を充実する。
(5)	その他	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校が連携を強め、共通理解のもとに活発なPTA活動を目指す。 ・開かれた学校づくりに努め、地域との連携・交流を推進し、地域の方々より学校運営等について意見を聞く。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等に合わせたPTA行事を計画し、保護者の参加率の向上を図る。 ・PTA総会、役員会、各事業の出席率を高め、意識の向上に努める。 ・PTA、同窓会、学校評議員、地域諸団体等に学校ホームページなども活用して、本校の教育活動を広く紹介するとともに、地域との連携を深める。